

氏名(本籍)	よし だ けい た 吉 田 啓 太 (兵 庫 県)
学位の種類	博 士 (法 学)
学位記番号	博 甲 第 3045 号
学位授与年月日	平成 15 年 3 月 25 日
学位授与の要件	学位規則第 4 条第 1 項該当
審査研究科	社会科学研究科
学位論文題目	アラブマグレブ連合の生成と変容—地域統合と民主化をめぐる—
主査	筑波大学教授 法学博士 進 藤 榮 一
副査	筑波大学教授 博士(社会学) 駒 井 洋
副査	筑波大学教授 法学博士 波多野 澄 雄
副査	筑波大学教授 法学博士 松 岡 完

論 文 の 内 容 の 要 旨

第二次世界大戦後独立し、EU特に西仏伊と密接な関係を保ちながら本質的にアラブ＝イスラム世界の構成要素であるマグレブ諸国は、1989年アラブマグレブ連合(UMA)を結成して統合の第一歩を踏み出した。第I部では'90年代初期までの期間に生じた三次にわたる危機を抽出し、これに対応するマグレブの変成を固有の政経環境に照らして跡づけ、連合の成立事情と存在理由を明らかにしようとする。第II部においては連合がたどった軌跡を中南米・アジアとの比較を交えてフォローし、'95年バルセロナ協約を以てEU・北アフリカ・中東地域を国際政治経済の新しい枠組みに組み入れようとする「ユーロ・地中海プロセス」の意義と射程を、マグレブが選択する方位との関連から考える。以下章別に要約する。

《序章》統合への早期の胎動にもかかわらず各国とも国民国家体制の完成を優先目標とする中で大きい影響を与えた諸開発理論の射程を追う。《1章》政治構造を比較した後他の国家群との相互依存関係を正・負両面から考察し、'70年代に生じた食糧危機と石油危機がマグレブ内部に及ぼした分断作用に論及する。《2章》80年代のマグレブ経済を経済政策の画期的転換との関連面からとりあげ、ECの脅威に刺激されて急速に統合機運が高まった過程を検証し、連合条約及び国際社会の広く深い反響を分析する。《3章》冷戦後世界システムの画期的転換に直面したマグレブの反応、次で湾岸戦争への関わりを通してアラブ世界の多重性を国際関係の動態の中に考察する。《4章》前半では連合の経済的不振の主要因を産業構造の変化・貿易乗数効果・対外債務状況とFDI等のポイントを設定して検証する。後半では先述した、EUと地中海世界を束ねる大規模の経済統合構想が推し進める世界経済秩序の新しい段階を展望した。《5章》大型統合のモード化とグローバル化の進行を俯瞰し、次に主にマグレブ出自の研究者による'90年代後半期の研究動向の分析総括した後、地域統合の進展と民主化の関係を正統性を焦点として追及した。非民主的体制から民主的体制への移行過程に生じる、「市場の失敗」などの齟齬を補正するために市民社会と市民の相互成熟—即ちデモクラシーの深化が必要と考える。そして長期的尺度で見た、「一度表現した体制としてのデモクラシーを解体し再構築しようとする運動体あるいは推進力自体としてのデモクラシー」という命題を提起する。更に本章ではアラブ＝イスラム世界を例外的特殊存在とする論をめぐるデモクラシーの普遍的妥当性の問題を掘り下げ、「assabiyya」など三つのキー・コンセプトを検討し、最近注目をひいている「ラディカル民主主義」論に通低する二十一世紀の民主化運動の方向性を示唆する。それは非抑圧者の利害を代弁し、

市場経済の歪みの是正を目的として途上国の民主化運動との連帯志向をもつ民主化運動である。《終章》においては第一に'70年代の危機から湾岸戦争におけるアラブ世界の分裂とマグレブ統合解体の危機に到るまでの危機克服を概括する。第二に国民国家の完成と地域統合の同時実現を目指す矛盾とその解決について言語政策の考察からヒントを見出す。最後に「市民社会を基盤とする(----)もう一つの地域主義」を唱導するJ.H. ミッテルマンの展望をとりあげた後、アフリカ・アラブ・イスラム世界との複合的連帯を保持しつつユーロ・地中海への賢慮ある協力を推進することこそ、マグレブの最も望ましい方位設定であろうとの結論に達した。

審 査 の 結 果 の 要 旨

本稿は(1)現代マグレブを(2)一つの単位体として(3)その政治経済環境との関連において(4)ひろく国際関係の動態の中でとらえようとした点において、また欧米のみならずアラブマグレブ出自の研究者の学術活動の成果をつとめて多くとりいれた点において、本学の『社会科学履修要項』の中に内規として定められた「オリジナルな業績を含んでいる」という条件を充足するものと認めることができる。

また、あたらしい国際社会における日本の役割としてイスラム圏との接触活動を進める上で、多少とも寄与できる研究と思われる。

よって、著者は博士(法学)の学位を受けるに十分な資格を有しているものと認める。